

新・福岡古楽音楽祭 2024

古楽講座「むかしの楽器」vol.7 ファゴット編 ～むかしむかしのファゴット～



ファゴットの発生に至るまでに演奏されていたダブルリード楽器（ショーム等）、ファゴットの発生が確認されている16世紀中ごろ、17世紀18世紀～と変化していくファゴットの歴史を複数の楽器と当時の楽曲を扱いながらレクチャーする。

日時：10月12日(土)14:30～16:00

会場：円形ホール（アクロス福岡1階）

講師：長谷川太郎（ファゴット奏者）

対象者：どなたでもご参加いただけます

※小学校入学前のお子様のお入りはできません

受講料：1,000円

定員：100人 ※先着順。定員に達し次第受付終了。

申込期間：7月15日(月・祝)10時受付開始!!

※先着順。定員に達し次第受付終了。

申込方法：ホームページのフォームより申し込み

(<https://www.kogaku.net/>)



問い合わせ：新・福岡古楽音楽祭 事務局

✉ kogaku.fes@gmail.com

🌐 <https://www.kogaku.net/>

主催：新・福岡古楽音楽祭実行委員会、福岡県、福岡市、(公財)アクロス福岡、(公財)福岡市文化芸術振興財団

後援：福岡県合唱連盟、福岡吹奏楽連盟 協力：日本アートマネジメント学会 九州部会

◆本講座の聴き所◆

オーケストラの後方に腰を下ろす、茶色い煙突のような見た目の楽器。薪の束を意味するその楽器の名は“ファゴット”。今年は日曜劇場「さよならマエストロ」にも登場し注目を浴びました。マニアックなクラシック愛好家の方はヴィヴァルディからストラヴィンスキーまで、様々なシーンで活躍するこの楽器の多様性をご存じかもしれません。でも、ファゴットの魅力はそれだけじゃありませんよ！私たちが一般的に耳にするファゴットの音楽は、ここ300年くらいのもので、本講座ではそれよりもさらに数百年昔に遡り、ヨーロッパで活躍していたこの楽器の世界を旅します

◆演奏曲◆

- T.スザート：ルネサンス舞曲集「ダンスリー」より“ファゴット”ほか
- G.P.da パレストリーナ：私の愛しい人よ、汝は美しい（F.ロニョーニ編）
- P.F.ベデッカー：ファゴットソナタ「ラ・モニカ」
- J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第1番より抜粋 ほか

賛助出演：太田耕平（リュート奏者）



◆講師プロフィール◆



長谷川太郎 ファゴット奏者

東京藝術大学卒業。パリ国立地方音楽院古楽科を最優秀の評価を得て修了。

バロックファゴットとドゥルツィアンの2つの演奏家ディプロマを取得。

フランスでは各地のホール、国営放送やヴェルサイユ宮殿などでコンサートや録音に参加。

帰国後の2021年に東京で行ったコンサートは日本初のドゥルツィアンのリサイタルとなる。

羽田野謙一氏より、18世紀パリで製作された“Prudent”によるオリジナルファゴットの貸与を受けている。